平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場会社名　東京インキ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4635　URL　http://www.tokyoink.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 大橋　淳男
問合せ先責任者 (役職名) 管理部門理財部長　(氏名) 佐藤　健二　TEL 03-5902-7652

四半期報告書提出予定日　平成25年8月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	10,910	△7.0	43	△70.7	203	5.3	175	△34.2
25年3月期第1四半期	11,732	6.6	148	△12.1	192	△22.7	267	97.6

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　263百万円　(164.7%)　25年3月期第1四半期　99百万円　(△44.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	6.50	―
25年3月期第1四半期	9.87	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	46,064	19,769	42.3	720.71
25年3月期	47,078	19,588	41.0	713.48

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　19,505百万円　25年3月期　19,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	3.00	―	3.00	6.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		3.00	―	3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,700	△5.4	40	△85.1	130	△61.5	120	△62.9	4.43
通期	47,400	0.1	470	12.1	590	1.9	430	20.9	15.88

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	27,257,587 株	25年3月期	27,257,587 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	193,468 株	25年3月期	191,716 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	27,065,092 株	25年3月期1Q	27,076,294 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当っての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間（平成25年４月１日～平成25年６月30日）におけるわが国の経済は、新政権による経済政策により、円高の是正、株価の上昇等、景気回復への期待が膨らんでいるものの、欧州の債務問題や海外経済の減速懸念等もあり、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、新製品の継続的な展開に努め、またあらゆるコストの削減に引き続き取り組んでまいりましたが、為替の変動による原材料価格の影響や、エコカー補助金等の政策効果のあった前年同四半期と比較し、厳しい結果となりました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高が109億１千万円で前年同四半期比８億２千１百万円の減収（7.0%減）、営業利益は４千３百万円で前年同四半期比１億４百万円の減益（70.7%減）、経常利益は２億３百万円で前年同四半期比１千万円の増益（5.3%増）、四半期純利益は１億７千５百万円で前年同四半期比９千１百万円の減益（34.2%減）となりました。

次に、セグメント別に概況をご報告いたします。

（インキ事業部門）

オフセットインキは、市場の縮小化が進行する厳しい環境の中で新製品の展開や売上維持に努めた結果、数量および売上高は前年同四半期並みとなりました。

グラビアインキは、拡販に努めてまいりましたが、数量および売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

印刷用材料は、オフセットインキと同様に市場の縮小化が進行する中、売上維持に努めましたが、売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

印刷機械は、売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

この結果、インキ事業部門の売上高は、35億９千９百万円で前年同四半期比３億６百万円の減収（7.8%減）となりましたが、セグメント利益は業態変革の推進、コストの低減等に努めた結果、１億４千万円で前年同四半期比１百万円の増益（0.9%増）となりました。

（化成品事業部門）

合成樹脂用着色剤は、政府によるエコカー補助金の政策効果のあった前年同四半期に比べ自動車用途向けが減少し、またその他用途の需要も伸び悩み、数量および売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

合成樹脂成形材料は、合成樹脂用着色剤と同様に政策効果のあった前年同四半期に比べ自動車用途向けの受託が減少し、またその他用途の受注も減少し、数量および売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

この結果、化成品事業部門の売上高は52億２千８百万円で前年同四半期比６億８千万円の減収（11.5%減）となり、セグメント利益は１億９千７百万円で前年同四半期比１億２百万円の減益（34.1%減）と厳しい結果となりました。

（加工品事業部門）

工業材料は、防災・減災向け資材の販売が順調に推移し、売上高は前年同四半期に比べ大きく増加いたしました。

包装材料は、好・不況が混在し、売上高は前年同四半期並みとなりました。

仕入商品は、売上高は前年同四半期並みとなりました。

この結果、加工品事業部門の売上高は19億９千７百万円で前年同四半期比１億６千７百万円の増収（9.1%増）となりましたが、利益面では原材料価格の高騰等が影響し、４百万円のセグメント損失（前年同四半期は２千２百万円のセグメント利益）となりました。

（不動産賃貸事業部門）

不動産賃貸事業部門は、売上高は８千５百万円で前年同四半期比２百万円の減収（2.5%減）、セグメント利益は４千９百万円で前年同四半期比２百万円の減益（5.3%減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第１四半期連結会計期間末の総資産は460億６千４百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億１千３百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少６千２百万円、受取手形及び売掛金の減少14億４千５百万円、たな卸資産の増加１億４百万円、繰延税金資産の増加８千３百万円、有形固定資産の増加６千１百万円及び投資有価証券の時価上昇等に伴う増加１億３千万円等によるものです。

（負債）

負債合計は262億９千４百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億９千４百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少10億５千４百万円、短期借入金の減少４億６千万円、未払法人税等の増加１億３千７百万円、賞与引当金の増加３億１千５百万円及び長期借入金の減少１億６千１百万円等によるものです。

（純資産）

純資産の部は197億６千９百万円となり前連結会計年度末に比べ１億８千万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加９千４百万円及びその他の包括利益累計額の増加９千９百万円等によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、当第１四半期連結累計期間の業績が第２四半期の連結業績予想よりも上回っておりますが、今後の経済情勢や当社グループを取りまく事業環境等が不透明であることから、現時点では第２四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想（平成25年５月14日発表）に変更はありません。今後、連結業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

なお、業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,525	1,463
受取手形及び売掛金	19,059	17,614
商品及び製品	3,719	3,847
仕掛品	1,616	1,552
原材料及び貯蔵品	1,650	1,690
繰延税金資産	412	482
その他	266	277
貸倒引当金	△159	△83
流動資産合計	28,091	26,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,140	7,120
機械装置及び運搬具（純額）	2,256	2,748
工具、器具及び備品（純額）	73	78
土地	3,497	3,497
リース資産（純額）	681	655
建設仮勘定	437	47
有形固定資産合計	14,085	14,147
無形固定資産		
リース資産	11	8
その他	79	76
無形固定資産合計	90	85
投資その他の資産		
投資有価証券	4,439	4,570
繰延税金資産	121	136
その他	625	649
貸倒引当金	△376	△368
投資その他の資産合計	4,810	4,986
固定資産合計	18,987	19,220
資産合計	47,078	46,064

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,459	12,404
短期借入金	3,980	3,520
1年内返済予定の長期借入金	1,562	1,475
リース債務	213	207
未払法人税等	2	139
賞与引当金	436	751
未払消費税等	172	79
未払費用	830	881
その他	485	654
流動負債合計	21,142	20,114
固定負債		
長期借入金	2,623	2,461
リース債務	509	485
繰延税金負債	470	523
退職給付引当金	2,300	2,262
役員退職慰労引当金	240	238
その他	201	208
固定負債合計	6,347	6,180
負債合計	27,489	26,294
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,246	3,246
資本剰余金	2,511	2,511
利益剰余金	13,369	13,464
自己株式	△49	△50
株主資本合計	19,077	19,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	376	455
繰延ヘッジ損益	－	△15
為替換算調整勘定	△143	△107
その他の包括利益累計額合計	233	333
少数株主持分	277	264
純資産合計	19,588	19,769
負債純資産合計	47,078	46,064

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	11,732	10,910
売上原価	10,142	9,491
売上総利益	1,590	1,419
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	401	376
福利厚生費	91	83
減価償却費	67	61
貸倒引当金繰入額	4	－
賞与引当金繰入額	142	131
退職給付引当金繰入額	57	47
役員退職慰労引当金繰入額	4	9
通信交通費	80	75
荷造及び発送費	266	262
その他	326	328
販売費及び一般管理費合計	1,441	1,375
営業利益	148	43
営業外収益		
受取利息	6	10
受取配当金	65	69
貸倒引当金戻入額	－	82
その他	19	19
営業外収益合計	90	181
営業外費用		
支払利息	21	18
為替差損	10	0
その他	14	3
営業外費用合計	45	22
経常利益	192	203
特別利益		
固定資産売却益	9	－
投資有価証券売却益	－	80
保険差益	255	－
受取保険金	－	26
特別利益合計	264	107
特別損失		
固定資産除売却損	0	10
減損損失	328	－
子会社売却に伴う損失	84	－
特別損失合計	413	10
税金等調整前四半期純利益	44	299
法人税、住民税及び事業税	244	189
法人税等調整額	△524	△53
法人税等合計	△280	135
少数株主損益調整前四半期純利益	324	164
少数株主利益又は少数株主損失（△）	57	△11
四半期純利益	267	175

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	324	164
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△245	78
繰延ヘッジ損益	－	△15
為替換算調整勘定	20	36
その他の包括利益合計	△225	99
四半期包括利益	99	263
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	42	275
少数株主に係る四半期包括利益	57	△11

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					合計
	インキ事業部門	化成品事業部門	加工品事業部門	不動産賃貸事業部門	計	
売上高						
外部顧客への売上高	3,905	5,908	1,830	87	11,732	11,732
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	8	2	－	14	14
計	3,909	5,917	1,833	87	11,747	11,747
セグメント利益	139	299	22	51	513	513

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差額調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	513
全社費用（注）	△364
その他の調整額	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	148

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「インキ事業部門」において、保有していた資産の売却が予定されており、売却に伴う回収可能見込額が帳簿価額を下回ったこと等による減損損失が発生しました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第１四半期連結累計期間においては、328百万円であります。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					合計
	インキ事業部門	化成品事業部門	加工品事業部門	不動産賃貸事業部門	計	
売上高						
外部顧客への売上高	3,599	5,228	1,997	85	10,910	10,910
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	7	0	－	7	7
計	3,599	5,235	1,998	85	10,918	10,918
セグメント利益又は損失（△）	140	197	△4	49	382	382

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差額調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	382
全社費用（注）	△339
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	43

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。